12_{月号}

月刊 • 善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号 TEL 048(734)7660 榎本明覚

椿は600 間違われますが が山茶花です。 お問合せの上訪ねてみられてはいかがでしょうか。 0 月から4 月あたりが開花時期です。 を椿が咲く 旬 (く「椿寿庵」があり、万葉花弁が1枚ずつ散っていく から3月下 旬頃まで愛で 一度



椿 肥谷輝子作

季節の花

~椿~

▼二〇二〇年十二月一日▲

例 + — 日 月

〇 十 -二月十 一日(金)午後二時

~ 三時

自由自在

於

善巧寺

法輪会館

るという解決を採ります。 認めて下さっているよ、心配しなくて 土真宗では、 には必ずついて回る問題でしょう。 縛です。社会生活を営んでいる私たち 注目されているのは「承認欲求」です。 軟に自分を変えていける、それが本来 もに安らかに生を全うできるよう柔 いいんだよ、と常に呼んで下さってい け入れて主張すら変えていき、自他と 言います。常に新しい知見や経験を受 いうものがあります。仏さまの 誰かに認めてもらいたい」という東 仏さまを表す言葉に「自由 あらゆる束縛から離れている事を 自由」と言えるでしょう。 阿弥陀さまが、仏さまが 自由自在に 自 自由 近年、 在

みほとけ会 月

* ZDDM ミーティング

引き続き、ZOOM を用いたインタみほとけ会では感染対策のため んだいぶ上達しましたね!境はいまのところ大丈夫)、みなさったりですが(善巧寺のネット環信環境で遅延が発生する事もあ ーネット法話会を開催中です。 通

開催日時は、

毎月第 午後八時開始·九時終了 木曜 日、第三木曜日

jetfidget@gmail.com

参加ご希望の方は

パスワードを入力してご入室下さ メール すので、開催場所 URL をクリック、 夕方に招待メールを返信いたしま をお願いします。開催

なったのが、

南無阿弥陀仏なのです。

私を救う働きが私を呼ぶ声と

◎期 日 大 晦 日

所 善巧寺

午

後

四

時

~四時半

0

場

勤 0 行 内 容

『般舟讃(はんじゅさん)』

口法話

す。 舞い行事は中止とさせて頂きま ルキャンドル点灯、大根炊きふる 染症対策のため、例年の 報謝です。新型コロナウイ 善 巧寺としては 本年最 後 リサイク のご恩 ル ス感

所 B 善巧寺 元 日 本堂 午 前 時 ς

◎期

0 內

◎場

勤 行 御文章拝読·一口法話 『正信念仏偈(六首引き)』 tt ゃ 0 仏さまに る 诵 h うか。 た情 ŧ 冬 な状 事 お を が 係 は 0 ま 本 身体 **बें** を念 役 ます。 g 诵 激 暖 0 40 61 ま お 欺等 訪 製 なり 況 所 か 報を鵜呑みに (N) 減 休 物 ま こういう時は 3 浩 今 南 越 するなど、 σ でも支えてく 頭 0 ょ 24 事 人で悩 $\bar{\sigma}$ ま う。 あり 勝 牟 無 機 窓 業 が 汳 I 被害に 乾燥 ば 手に 四 能 置 7 Ш は \mathcal{O} \Box また不 感 どん 実な 方は 弥 がとう」 Ī で は弱 き 61 決 \$ 丟 陀 判 変 報 ま る 寒 ず ŧ 精 対 タク 仏。 な 断 お る 7 ま 告 (D) 11 さで 様 遭 安 家 神 では れる人 客様 無 よう。 う。 tţ 7 つ な 的 きで 族 R 医 を大 কুঁ タ 連 理 別疲労は、 も 時 せ な 療 絡 き 無 は が 61 覚は そ 親 必 助 す は 逆 従 つ 切 た なさら 減 ま い な 相 ず 友 け 事 61 ਰੋ が C 5 つ 変 な 談 者 普 が 飮 家 U o ľΖ 誤 言 必 \mathcal{O} ರ

「5つの場面」 感染リスクが高まる

①飲酒を伴う懇親会など

○飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、 聴覚が鈍磨し、大きな声になりやすい。

○特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が 滞在すると、感染リスクが高まる。

○また、回し飲みや箸などの共有が感染リスクを高める。

日

部

ょ

点 感

意 に

き

安

過

l١ しょ

善

巧

寺

ŧ

引

き 左

続

き 0

C ま

染 12

扙

策 注

取

IJ た

組 të.

ル

で

参 全

IJ 12

ま お 会 事

す

ご

協

力 だ

お

願

しょ

VI

ま

ढ़

IJ

ta

h

で が

お 拡

食

事

さ

れ

機 う

も が

增

え か

る <

ح

思 さ

₹

تح

う

か 末

記

0 ₹

つ

て

感 さ

染

が

つ

て

末 る

わ

つ

て

き

7

1

末

0

年

年

始 12

今

ま

で

0

感

染

例

で

五

つ

()

場

面

主

12

マ

ス

勹

を

外

て

(1)

会

食

ょ

②大人数や長時間に及ぶ飲食

○長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、 短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。

○大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり、飛沫が飛び やすくなるため、感染リスクが高まる。



③マスクなしでの会話

○マスクなしに近距離で会話をすることで、 飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リス クが高まる。

○車やバスで移動する際の車中でも注意が



4)狭い空間での共同生活

○狭い空間での共同生活は、長時間にわたり 閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高 まる。

Oトイレなどの共有部分での感染が疑われる 事例が報告されている。



⑤居場所の切り替わり

○仕事の休憩時間に入った時など、居場所が 切り替わると、気の緩みや環境の変化により、 感染リスクが高まることがある。

○休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われ る事例が確認されている。



